

## 「Lesson 4 Enjoy Sushi &amp; Project③」

## 挑戦問題 『ALTの友だちに自分たちの町を紹介しよう』

## 本単元で育成する資質・能力

知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 責任・使命 協力・協働 感謝・貢献

## 1 単元で目指す学ぶ姿

日本の食文化について関心を高めるとともに、There + be 動詞+～や動名詞を活用し、外国人の関心・興味に合わせて自分たちの町について紹介できる姿

## 【評価方法】

授業中の教師観察およびワークシート、提出物等、生徒には、次の資質・能力のルーブリックのAとS基準を示し、意欲を喚起させ、単元の最後の自己評価に教師評価を加える。

<単元で生徒と共有する学びの姿を見取る資質・能力のルーブリック>

	資質・能力	評価	評価基準
知識・技能	知識・技能	S	There+be 動詞+～や動名詞を活用して、地域や文化を伝えながら、相手の興味に合わせて会話を広げることができる。
		A	There+be 動詞+～や動名詞を活用して、地域や文化を伝えながら、会話を広げることができる。
		B	There+be 動詞+～や動名詞を活用して、地域や文化を伝えることができる。
		C	There+be 動詞+～や動名詞を活用して、地域や文化を伝えることができない。
外国語理解の能力	情報収集 判断	S	まとまりのある英文を読み、その概要・要点をまとめることができる。
		A	まとまりのある英文を読み、その概要・要点を理解することができる。
		B	まとまりのある英文を読み、理解することができる。
		C	まとまりのある英文を読み、その概要・要点を理解することができない。
外国語表現の能力	思考 表現	S	自分たちの町の名所について、相手の興味に合わせて工夫して紹介することができる。
		A	自分たちの町の名所について、相手の興味に合わせて紹介することができる。
		B	自分たちの町の名所について、紹介することができる。
		C	自分たちの町の名所について、紹介することができない。
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	挑戦 探究	S	間違うことを恐れず、相手に理解しやすいように工夫して紹介することができる。
		A	間違うことを恐れず、工夫して紹介することができる。
		B	間違うことを恐れず、紹介することができる。
		C	間違うことを恐れず、紹介することができない。
	責任 使命	S	学ぶ立場の責任を考え、言われなくても、すべきことに自主的に取り組むことができる。
		A	学ぶ立場の責任を考えノートや課題など、すべきことを行うことができる。
		B	学ぶ立場の責任を理解し、きちんとノートや提出物を出そうと努力することができる。
	協力 協働	S	話し合いや活動で協力し、それぞれの意見や力を生かし、課題を解決することができる。
		A	話し合いや活動で協力し、課題を解決することができる。
		B	話し合いや活動で協力することができる。
	感謝 貢献	S	外国の人に自分たちの町を紹介して絆を深めることができる。
		A	外国の人に自分たちの町を紹介して自分なりに貢献することができる。
B		外国の人に自分たちの町を紹介して自分なりに貢献しようと努力することができる。	
		C	外国の人に自分たちの町を紹介しようと思っていない。

## 2 単元について

### (1) 生徒観

本学級の生徒は、ペア活動・グループ活動等の少人数での活動型授業に積極的で、授業の大部分を協働学習で進めている。6月に行ったアンケートでは、「自分の考えや気持ち、事実などを英語で話している」という質問に対して72.2%の生徒がよくあてはまると回答しているが、「相手からの依頼や質問を聞くとき、相手が何を求めているのかを注意して聞き、それに答えるようにしている」という質問によくあてはまると回答した生徒は61.1%、「英語で文章を書くときは、自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、一文一文を正しく書くとともに、文と文のつながりに注意している」という質問によくあてはまると回答した生徒は、55.6%となっている。

このことから、授業でより実践的に話す機会を増やし、相手の求めていることを意識して話したり正しく書いたりする場面を設定する必要がある。

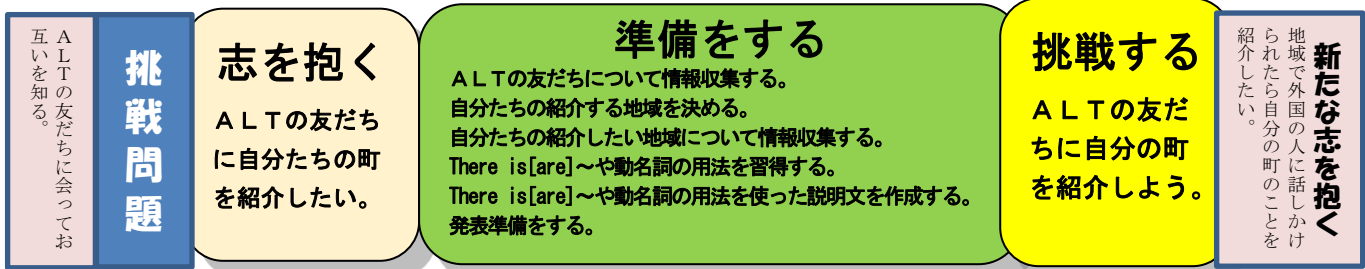
### (2) 単元観

この単元では、**There +be 動詞+～**や動名詞の用法を理解するとともに、世界中の人々から関心が寄せられている日本食を話題にし、その中でも多くの国と地域で食べられている寿司から、日本の食文化に関心をもち、地域ごとに特色ある食文化があることを学ぶ。そこから、地域の食文化を考えながら、海外からの観光客のために、自分たちの町の名所・観光地を紹介し、表現力を培っていくことをねらいとしている。

### (3) 指導観

指導にあたっては、次の5つのポイントで授業改善をすすめる。

#### ① 挑戦問題から始まる課題発見・解決学習の流れを次のように設定する。



日本の食文化について考えるとともに、自分たちの身近な地域について知り、外国の人に紹介することで生徒の意欲を向上させる。紹介文を個人で「書くこと」から、ペアで確認・グループでの発表へと少人数から始め、HP作成で「書くこと」にとどまらず、実践的に話す場面を設定する。そして、実際の話す場面では、相手とのコミュニケーションを大切に、間違いを恐れず「話すこと」への自信につなげ、自分の考えや気持ち、事実を聞き手に対してわかりやすく「話すこと」へ取り組む意欲にしていきたい。

本校の生徒は、小学校で「うどん豆腐」、中学校の家庭科で「お好み焼き」等の郷土の食文化について学習している。それを受けて、第2学年では、3学期の統合問題として扱われているProject③を参考に、自分たちの学校や町を紹介する挑戦問題を設定し、長期的な取組にする。本単元で習得した表現が観光案内に活用できることを理解し、対象となる外国の人を明確にすることで生徒の意欲・関心を高め、相手を意識した情報収集からより具体的な内容の紹介を展開させる。

また、ICTを利用し、これからのグローバル社会で英語を介して、世界の人と関わっていくことを学ばせる機会になるよう努める。

#### <本単元の挑戦問題「AL Tの友だちに自分たちの町を紹介しよう」について>

英語科では、授業の中で得た知識や表現を応用し、挑戦問題として AUTHENTICITY のある場面を設定することで、生徒に挑戦心・探求心を身につけさせたいと考えている。そこで、これまでのAL Tとのインタビューテストやパフォーマンス課題に加え、日本語を理解できない外国に在住する人とのコミュニケーション活動を取り入れ、言いたいことを英語で表現しなければならない状況での課題を段階的に設定し、その過程を通して英語への関心・意欲を高めるとともに、英語で表現し意思疎通することの楽しさを実感できるようにする。そして、各学年の発達段階に応じて次のような挑戦問題を設定している。

昨年度場面設定	昨年度第1学年	昨年度第2学年	昨年度第3学年
ALT の婚約者を知る。		放課後、代表生徒でテレビ電話(skype)を利用し、ALT の婚約者(南アフリカ在住者)にインタビュー	
		インタビューした生徒たちで婚約者のプロフィールを作成	
ALT の結婚や婚約者を紹介する。	インタビューした代表生徒たちによるプロフィールを使つての各学年への婚約者紹介		
	He, she, 一般動詞三単現	第1学年の既習事項確認	復習と連語表現
ALT の結婚を祝う。	結婚祝福メッセージとダンスのビデオレター贈答	ほんと？うそ？日本の結婚に関するクイズで南アフリカの結婚と比較 「お祝いパーティー」開催 → must, mustn't, don't have to を使ってクイズ→結婚に関する文化の相違理解	お祝いカード作成
配偶者を学校(狂言鑑賞)に招待する。	自分たちの学校生活を写真で紹介→School in the USA の紹介を参考に、助動詞 can や現在進行形を使い、行事や授業(落語や箏・尺八等の日本文化に触れる機会)の様子を説明する。	自分たちのまちを紹介・狂言(附子)劇→学校や地域のこと・呉の名物・観光スポット・ALT 夫妻が楽しめるような観光地を案内する。事前のインタビューから得た情報をもとに、There is(are)~, be famous for~, enjoy ~ing 等既習事項を使い、写真や実物を見せながら工夫して説明する。以前行った A Pot of Poison (附子)劇のパフォーマンステストの高得点者4人が、午後の日本語で行われる狂言を楽しんでもらえるように、『附子』を英語で披露	代表者が招待状作成  日本文化を紹介→生徒が紹介したいと挙げた日本文化を ALT と精選し、実物や実演を入れて楽しんでもらえるよう工夫をする。
訪問のお礼と情報をまとめて贈る。	紹介に使った写真から何枚かを選び、各自で学校のHP 原稿を制作	各自が担当した紹介をまとめて編集し、パンフレット制作	各自が説明した日本文化についてまとめ、冊子を制作し、礼状と贈答
本年度場面設定	第1学年	第2学年	第3学年
ALT が家族(南アフリカ在住)とする日本国内旅行に向けて、お勧めの場所を紹介する。			<b>L.5 USE Speak</b> 日本のお勧めの場所を紹介
ALT の友だちを第3学年の授業に招待し、インタビューする。			<b>Project ①</b> グループでテーマを決めてALT の友だちにインタビュー→ <b>USE Speak</b> その友だちの興味や関心を

			<p>知るとともに会話を広げる必要性を学ぶ。インタビューを担当していないときは、個人で内容を聞き取りまとめる。</p> <p>個人のまとめた内容をもとに、ALTの友だちのプロフィールをグループごとに作成 グループごとにプロフィールを使ってALTに紹介 上位2グループを決定→第1・2学年の生徒への関心を高めるとともにリーダーとして活動する。</p>
ALTの友だちを紹介する。	第3学年代表の2グループが、プロフィールを使って第1学年と第2学年にALTの友だちを紹介→第1学年と第2学年は自分たちのProjectに向けて情報収集		
	He, she, 一般動詞三単現	第1学年の既習事項確認	復習と連語表現
ALTの友だちに会う。	ALTの友だちに自己紹介→お互いを知る。		
	招待状を作成	<u>L.4</u> 紹介したい日本食のレシピを英語で作成→ALTの友だちに贈る。	
ALTの友だちを学校に招待する。	<p><b>Project ①&amp;L.8</b></p> <p>自己紹介を始めとし、自分たちの学校生活を写真で紹介→<u>L.8</u> School in the USA の紹介を参考に、現在進行形を使ったり、行事や授業の様子を説明したりする。落語や箏・尺八等の日本文化に触れる機会があることを伝える。 総合的な学習の時間に学んだ落語を、代表者が英語(NEW CROWN 3 掲載の「時そば」)で披露</p>	<p><b>Project ③</b></p> <p>自分たちの町を紹介→学校や地域のこと・呉の名物・観光スポット・ALT 夫妻が楽しめそうな観光地を案内する。事前のインタビューから得た情報をもとに、<b>There is(are)~, be famous for~, enjoy ~ing</b> 等既習事項を使い、写真や実物を見せながら工夫して説明する。 狂言(附子) 劇以前行った <u>L.R.1</u> A Pot of Poison (附子) 劇のパフォーマンスの高得点者4人が『附子』を披露</p>	<p><b>Project ②</b></p> <p>日本文化を紹介→インタビューの情報をもとに、これまでに総合的な学習の時間や音楽等の他教科で学んできた尺八・箏・落語等から、生徒が紹介する日本文化を精選する。実物や実演を入れて紹介し、実際に触れたり挑戦したりして楽しんでもらう工夫をする。</p>
訪問のお礼と情報をまとめて贈る。	<u>L.8</u> 紹介に使った写真から何枚かを選び、アメリカ在住の友だちにビデオレターを制作	各自が担当した紹介をまとめて編集し、パンフレット制作	各自が説明した日本文化についてまとめ、冊子制作

## ② 振り返り時間（５分）の充実

自分の町を紹介する場面で役立つ表現を習得させるために、振り返り時間（５分）を確保する。振り返りを通して、紹介で使いたいその他の表現を（課題発見）を引き出し、自学自習や次の授業につなげていく。

## ③ 自学自習への意欲を引き出す予習課題・復習課題の設定

授業前に取り組む短時間の復習ワークシートを準備し、自ら学習を開始する習慣の定着を試みている。授業の後半には、次の時間に行うゲームや発表の活動に合わせて必要となる語句や表現のワークシートを予習課題とし、授業中生徒が知りたいと思ったことについては、自分で調べて発表する機会を設けるように工夫している。

## ④ ワークシート・ノート指導の工夫

授業展開は、ペア・グループでの活動を基本にして問題解決の過程を共有するようにしている。ワークシートは時間設定を行い、ゲーム的要素の強い取組や（「宝探し」「夢の家」「マッチングゲーム」等）コミュニケーション活動につながるものを多く取り入れ、ノート作成では、班単位でのポイント制を導入して家庭学習の声かけにつなげ、自分で辞書等を使って調べたことを大きく評価する。また、長期的な取組となる課題設定であるため、役立つ表現をまとめるノート・ワークシートを工夫し、振り返りシートと合わせて確認する時間を確保する。

## ⑤ 評価の工夫

広南学園の資質・能力のSルーブリックを活用し、教科の目標に準拠した評価活動を行う。

## 3 単元の目標

- ・日本の食文化について関心を高める。
- ・There +be 動詞+～や動名詞を理解し、使う。
- ・すしについての説明文を読む。
- ・相手の言ったことを確認したりして、会話を広げる。
- ・海外からの観光客や外国の人に「自分たちの町の名所」について紹介する。

## 4 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
聞き手が理解しやすいように工夫して紹介しようとしている。 間違えることを恐れず、紹介文を書こうとしている。	自分たちの町の名所について聞き手に正しく伝えることができる。 読み手に正しく伝わるように文と文のつながりなどに注意して紹介文を書くことができる。	まとまりのある英文を読み、その概要・要点を理解することができる。	There +be 動詞+～の文の形・意味・用法を理解している。 動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。

5 指導観と評価の計画 (全13時間)

時	学習内容	評 価					
		関	表	理	知	○評価規準 (評価方法)	★資質・能力の評価 (評価方法)
1	<p>○次の来校では、ALTの先生の友だちにどのようなことをすると喜んでもらえるでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その人の興味・関心に合わせて、歓迎のかたちを考えていく。</li> <li>・町の紹介やお勧めの場所を教えることの意義に気付く。</li> </ul> <p><b>挑戦問題</b> 「ALTの友だちに自分たちの町を紹介しよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元の目標をワークシートの資質・能力ループリックで理解する。</li> </ul> <p><b>課題の設定</b> (めあて)</p> <p>○自分たちの町でお勧めの店を説明しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてを資質・能力ループリックで理解する。</li> </ul> <p><b>情報の収集</b> (まとめ)</p> <p>○There +be 動詞+～の文構造を理解し、地域にあるお勧めの店を説明する。 (予習課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その店や周辺で楽しめることを考える。</li> <li>・There +be 動詞+～の文構造を理解し、地域にある場所や店を紹介する。</li> </ul>					<p>(知識・理解)</p> <p>◎There +be 動詞+～に関する知識を理解し、地域にあるお勧めの店を説明できる。(ワークシート)</p>	<p>★【知識・技能】 (資質・能力ループリック)</p>
2	<p>○3年生のプロフィールを見て紹介を思い出してみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その人の趣味や興味のあることを確認する。</li> <li>・動名詞を使って、好きなことや楽しいことを伝える。</li> </ul>		◎		○	<p>○第3学年の紹介プロフィールから、動名詞の意味・用法を理解する。(観察)</p> <p>(表現)</p> <p>◎動名詞を使って、好きなことや楽しいことを伝えることができる。(ワークシート)</p>	<p>★【思考・表現】 (資質・能力ループリック)</p>
3 ・ 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すしに関するウェブサイトを理解する。</li> </ul> <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの地域の食文化について考える。 (予習課題)</li> <li>・ALTの友だちに紹介する日本食のレシピを考える。</li> </ul>			◎		<p>(理解)</p> <p>◎地域ごとに特色のある寿司が掲載されたガイドブックの記事を読み取る。(ワークシート)</p> <p>○自分たちの地域の特色を考え、意見を発表する。(観察)</p>	<p>★【情報収集・判断】 (資質・能力ループリック)</p>

5	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の言ったことを確認する。</li> <li>グループでレシピアを作成する。</li> </ul>	◎		<p>(表現)</p> <p>◎つなぎ言葉等を使って会話を広げている。(観察)</p>	★【思考・表現】 (資質・能力ルーブリック)
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光案内所での説明を理解する。</li> </ul>		◎	<p>(理解)</p> <p>◎観光所での説明の要点を正確に聞き取り, どのような情報が必要であるかを知る。(ワークシート)</p>	★【情報収集・判断】 (資質・能力ルーブリック)
7 ・ 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の紹介文を参考にして, ALTの友だちに「自分たちの町の名所」を紹介する文を書く。</li> </ul>		○	<p>(理解)</p> <p>○There +be 動詞+〜や動名詞の用法を理解している。</p>	
		◎		<p>(表現)</p> <p>◎紹介文を書くことができる。(ワークシート)</p>	★【思考・表現】 (資質・能力ルーブリック)
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○町の名所についての紹介を, 他のグループに発表し, グループで工夫しよう。</li> <li>発表を聞いて, 意見やアドバイスをする。(予習課題)</li> <li>インターネットで情報を得る。</li> </ul>	◎		<p>(関心・意欲・態度)</p> <p>◎話し合いや活動で協力し, 課題を解決しようとしている。(観察)</p>	★【協力・協働】 (資質・能力ルーブリック)
		○		<p>○インターネットで検索し, 効果的な資料を探す。(予習課題)</p>	
10	<p>まとめ・創造・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>準備した資料をもとに, 表現や内容について話し合い, 確認する。</li> <li>話し合いをまとめ, 資料を整理し, 紹介文を完成する。</li> </ul>	◎		<p>(関心・意欲・態度)</p> <p>◎良いところや改善点を話し合っている。(観察)</p>	★【協力・協働】 (資質・能力ルーブリック)
			○	<p>○改善点をまとめ, 工夫している。</p>	
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTの友だちに「自分たちの町の名所」を紹介する。</li> </ul>		◎	<p>(表現)</p> <p>◎自分たちの町の名所について, 相手にわかるよう自分の考えを表現できる。(観察)</p>	★【思考・表現】 (資質・能力ルーブリック)
12 ・ 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自が担当した名所についてまとめ, パンフレットにする。</li> <li>作品を評価する。</li> </ul> <p>(まとめ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートのルーブリックをみて, 本単元で身に付けた資質・能力を自己評価する。</li> <li>ワークシートを提出し, 教師の評価を受ける。</li> </ul>	◎		<p>(表現)</p> <p>◎わかりやすい表現で効果的なパンフレットを作成している。(作品)</p>	★【思考・表現】 (資質・能力ルーブリック)
			○	<p>○作品を比較し, 良いところを発表する。</p>	★【知識・技能】 ★【情報収集・判断】 ★【思考・表現】 ★【協力・協働】 ★【感謝・貢献】 ★【責任・使命】 ★【挑戦・探求】 (資質・能力ルーブリック)

6 本時の学習（9時間目／全13時間）

(1) 本時の目標

お互いの作成した紹介文を意見交流して、改善することができる。

(2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆） 予想される生徒の反応（ <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> </span> ）	評価規準 教科の指導事項（○） 資質・能力（★） （評価方法）
<p><b>1 課題意識をもつ。（10分）</b></p> <p>○ALTに、日本に来て驚いたことや興味をもったことについて聞いてみましょう。</p> <p>・ALTの説明を聞く。</p> <p><b>課題の設定</b></p>	<p>・視覚的補助教材や身振りを使用し、効果的に理解させる。</p> <p><span style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・外国の人の興味・関心が自分たちとは違うことがわかった。</span></p>	
<p>めあて「お互いの作成した紹介文を意見交流して、改善し合うことができる。」</p>		
<p>・本時のめあてをルーブリックで理解する。</p> <p><b>2 効果的な紹介を考える。（10分）</b></p> <p><b>情報の収集</b></p> <p>・ALTに自分たちの紹介内容を説明し、アドバイスを参考に紹介内容を工夫する。</p> <p><b>3 交流する。（20分）</b></p> <p><b>整理・分析</b></p> <p>・他のグループの資料や発表内容を見て、参考助言をする。</p> <p>・紹介文以外に必要な資料準備や説明担当を分担する。</p> <p>・紹介文を改善し、資料を作成する。</p> <p><b>4 本時のまとめを行う。（3分）</b></p>	<p>◆机間指導し、グループで協働しているか確認する。</p> <p>・ALTは、外国の人としての視点でアドバイスをする。</p> <p>・効果的に紹介するための手段や方法をアドバイスする。</p> <p>・相手からの質問にも応えなければならないことに気付かせる。</p> <p>・コミュニケーションするときの大切なポイントを確認する。</p>	<p>○（関心・意欲）人の紹介を聞き、意見やアドバイスをすることができる。</p> <p>★協力・協働 ルーブリック S 話し合いや活動で協力し、それぞれの意見や力を生かし、課題を解決しようとしている。</p> <p>A 話し合いや活動で協力し、課題を解決しようとしている。</p> <p>B 話し合いや活動で協力しようとしている。</p> <p>C 話し合いや活動で、協力しようとしていない。</p>
<p>効果的に相手に伝えるためには、_____が大切である。</p>		
<p><b>5 本時を振り返り、次時につなげる。（5分）</b></p> <p>・振り返りシートを書く。</p> <p>・予習課題を知る。（2分）</p>	<p>生徒のまとめ例 効果的に相手に伝えるためには、写真や絵を使うことが大切だとわかった。</p> <p>（予習課題）</p> <p>・今日の意見交流で参考にできることを取り入れ、写真・絵・図等を準備してくる。</p>	<p>★資質・能力ルーブリックで自己評価をする。（ワークシート）</p>